

令和5年度

京都工芸繊維大学 一般選抜入学願書【前期日程】



SAMPLE

志望課程	応用生物学課程
志望順位	第1志望:一般プログラム 第2志望:地域創生Tech Program
選択科目	物理基礎・物理／化学基礎・化学 ※電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程、デザイン・建築学課程は空欄

受験番号
111000

フリガナ	コウセン タロウ	性別	生年月日	
氏名	工織 太郎	男	2004年 6月 1日	
出願資格	所在地	設立区分	高等学校等名／試験名・その他出願資格	
	京都府	国立	京都工芸繊維大学附属	
	高等学校等コード	課程区分	学科	卒業年月(資格取得年月)
	26999K	全日制	普通科	2023年 3月
	資格区分			
2	高等学校・中等教育学校卒業(修了)見込			
現住所	郵便番号	〒 606-8585	都道府県	京都府
	京都市左京区松ヶ崎橋上町1工織ハイツ1-101			

電話番号1	075-724-7164
電話番号2	090-0000-0000
共通テスト成績請求番号	200011-1001X-1
共通テスト受験教科・科目確認欄	確認欄 確認しました

令和5共通テスト成績請求票 国公立前期日程用 貼付欄
前
※成績請求票を必ず貼付してください。

※欄には記入しないでください。

※	
---	--

※点検	1	2
-----	---	---

令和5年度 京都工芸繊維大学 一般選抜受験票【前期日程】

個別学力検査等実施日程表

受験番号	111000	課程 月日	応用生物学 課程	応用化学 課程	電子システム 工学課程	情報工学 課程	機械工学 課程	デザイン・ 建築学課程
志望課程	応用生物学課程	2 月 25 日 (土)	英語 (120分) 9:30~11:30					
フリガナ	コウセン タロウ		数学 (120分) 13:30~15:30					
氏名	工織 太郎	2 月 26 日 (日)	理科 (物理・ 化学・生物) (180分) 9:30~12:30	理科 (物理・ 化学) (90分) 9:30~11:00	理科 (物理) (90分) 9:30~11:00			総合問題 (150分) 9:30~12:00
選択科目	物理基礎・物理／化学基礎・化学 <small>※電子システム工学課程、情報工学課程、機械工学課程、デザイン・建築学課程は空欄</small>							

● 試験当日は、この受験票と大学入学共通テスト受験票の両方を持参してください。

試験中机の上に置けるもの

受験票、黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のものは不可、ナイフは可)、鉛筆キャップ、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー(中身のみ袋から取り出したもの)、目薬、マスク

デザイン・建築学課程の総合問題の試験では、黒鉛筆を必ず持参してください。

デザイン・建築学課程の総合問題の試験中は、上記に加え、ねり消しゴムを置くことができます。

※ここに書かれているもの以外を置いておくことはできません。なお、受験上の配慮申請を行い、許可されたものは机の上に置くことができます。

切り取り

※ 印刷後、上の点線に沿って切り取り、受験票を試験当日に持参してください。
また、以下に記載の「受験についての注意」を試験までによく読んでおいてください。

● 受験についての注意

- ① 「試験当日の注意事項」を、本学ホームページ(<https://www.kit.ac.jp/>)において、試験実施日の1週間前を目途に掲載します。また、試験の前日の下見時間(2月24日(金)14時から16時30分まで)に試験場に掲示します。受験生は必ず「試験当日の注意事項」を読んでその指示に従ってください。
- ② 受験生は、試験の当日「令和5年度京都工芸繊維大学一般選抜受験票【前期日程】」と「大学入学共通テスト受験票」を持参し、監督者等の指示に従って提示してください。持参していない場合は、受験できないことがあります。万一、忘れた場合は試験場本部に申し出てください。
- ③ 試験当日の集合時刻は、「試験当日の注意事項」でお知らせします。
- ④ 試験開始後、20分以上遅刻して試験室に到着した場合は、受験することができません。
- ⑤ 指定の科目を1科目でも受験しなかった場合は、全試験を放棄したものとみなされ、以後は受験することができません。
- ⑥ 試験当日は「黒鉛筆又はシャープペンシル」と「消しゴム」を持参してください。試験時間中に机の上に置けるものは、上記受験票に記載しています。
- ⑦ 試験中は、受験票並びに監督者の指示するもの以外は机の上に置いてはいけません。
- ⑧ 試験中、不正行為をした場合及び不正行為とみなされる行動があった場合、又は監督者の指示に従わない場合は、直ちに受験の停止を命じます。
- ⑨ 身体の都合等により定められた試験室において受験することが困難と思われる場合は、事前に試験場本部に申し出てください。
- ⑩ 試験時間中に気分が悪くなるなど、受験することが困難と思われる場合は、監督者に申し出て、その指示に従ってください。この場合、医務室で一時休養の後、試験室に復帰することは可能ですが、試験時間の延長は認めません。また、試験室への復帰が次の試験時間の遅刻限度20分以上を経過した場合は、当該試験の受験も認めません。
- ⑪ 計時以外の機能が付いた時計及びこれと同様の機能をもつ文房具の持込を禁止します。
- ⑫ 携帯電話や音の出る機器は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し電源を切ってカバン等の中に入れておいてください。携帯電話を時計として使用できません。また、時計もアラームの設定を解除し、鳴らない状態にしておいてください。
- ⑬ 文字や数式等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合は、裏返して着ていただくことがあります。座布団と膝掛けは、文字や数式等がプリントされていないものに限り使用を認めます。